

株主の皆様へ

2010年度
第109期
報告書

2010年4月1日

▼
2011年3月31日

目次

ごあいさつ	P1
主な経営指標(連結)	P2
セグメント別概況(連結)	P2
事業の概況	P3、4
株式の概況、会社の概況	P5
株主メモ	P6

ごあいさつ



取締役社長 服部 隆

この度の東日本大震災に被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。また一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社グループは、機器用電線や通信用ケーブル、ワイヤカット放電加工機用電極線、およびフレキシブル基板（FPC）といった製品群を中心にして、開発設計から製造、販売までの一貫した電線関連事業を営んでおります。

2010年度（第109期）におけるわが国経済は、アジア向けを中心に輸出が増加し、生産も持ち直し、緩やかに回復してまいりました。一方、デフレ状況からは依然として脱することができず、雇用情勢も厳しい状況にありました。また、資源価格の上昇や円高の進行など、企業業績にとって厳しい経済環境にありました。

当社グループは、当期の黒字化を最優先課題として取り組んでまいりました。売上高の確保に向けた施策として、新製品を継続的に市場へ投入することにより売上拡大を図るとともに、市場のニーズにすばやく対応するために、直販主体の機動的な営業スタイルを強化してまいりました。また、利益改善の面では、生産性の向上、ロス削減、海外生産委託の活用などに取り組むとともに、固定費の圧縮、諸経費の節減、設備投資の抑制などの施策を実施してまいりました。

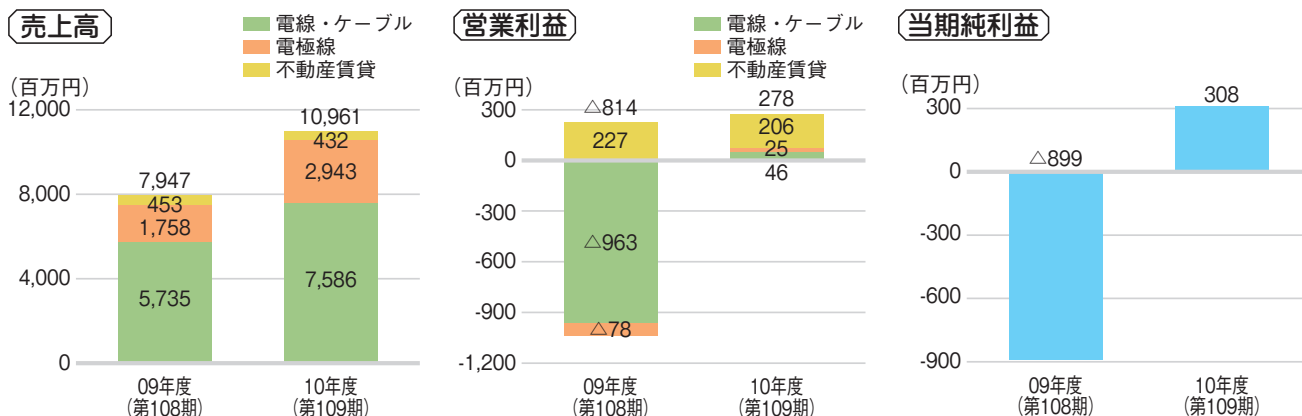
この結果、当社の連結業績につきましては、売上高10,961百万円（前年同期比37.9%増）、営業利益278百万円（前年同期営業損失814百万円）、当期純利益308百万円（前年同期当期純損失899百万円）となり、黒字化を達成しました。このような業績を踏まえ、当期配当金につきましては、期末配当金2円とさせていただきます。

なお、東日本大震災の当社への影響につきましては、特段の人的・物的な被害はなく、計画停電による当社群馬工場への影響も軽微でありました。東日本大震災からの復興に向けて、製造業としての供給責任を全うできるように最大限の努力をしております。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2011年6月

主な経営指標（連結）



(注) 当連結会計年度からセグメントを変更しております。なお、前年度分は組み替えて表示しております。

セグメント別概況（連結）

〔電線・ケーブル〕

売上高は、産業用機械および工作機械メーカーのアジア向け輸出が好調であったため、機器用電線、ワイヤーハーネス、光製品などが増加しました。また、フレキシブル基板は試作案件の量産化が進み増加しました。一方、通信用ケーブルは、国内需要の低迷により減少しました。

その結果、売上高は前年同期と比べ1,850百万円増の7,586百万円となりました。

営業損益は、銅価格の上昇によるコスト増はあったものの、売上高の大幅な増加により、前年同期963百万円の損失に対して46百万円の利益となりました。

〔電極線〕

売上高は、国内・海外向け需要の回復や新ブランドの投入により増加するとともに、銅・亜鉛価格の上昇を受け販売価格が押し上げられた結果、前年同期と比べ1,185百万円増の2,943百万円となりました。

営業損益は、主として売上高の増加により、前年同期78百万円の損失に対して25百万円の利益となりました。

〔不動産賃貸〕

売上高は、最近の不動産賃貸価格の下落の影響を受け、前年同期と比べ21百万円減の432百万円となりました。

営業損益は、主として売上高の減少により、前年同期に比べ20百万円減の206百万円の利益となりました。

事業の概況

〔電線事業〕

電線事業は、主に産業機器やFAの市場に向けた高速・高屈曲ケーブルに注力しております。

年々進むFA製品の小型化、高速化に伴い、ケーブルに対する要求もより厳しくなっており、高速性や屈曲性能をさらに向上させたインターフェースケーブルを開発いたしました。また、複数の多品種ケーブルを並列接着する工法を独自開発し、多心複合並列ケーブル「VEYOR-CABLE™」の提供を開始いたしました。これによりケーブルベアが無用となり、省スペースでコストパフォーマンスに優れた配線が可能になります。

さらに今まで培った特長ある技術を活かして、インバータ駆動用の耐ノイズケーブルやサージ抑制製品等を開発し、お客様からご好評を頂いております。

今後も先進の市場ニーズに応えられるように独自性の高い製品開発に取り組んでまいります。

〔ワイヤーハーネス事業〕

ワイヤーハーネス事業は、主に産業機器に使用される各種インターフェースケーブルを提供しております。

特にマシンビジョンが進む産業装置や医療用画像診断装置に使用される高精度な画像伝送用デジタルインターフェースの分野に注力し、ロボット用ケーブルの設計技術を活用した高屈曲性、高速伝送性、長距離性に優れたカメラリンクやLVDSケーブルを提供しております。

さらに、カメラの小型化、軽量化、低価格化に対応したカメラリンクPoCL Lite規格対応のインターフェースも新たに開発いたしました。

今後も様々なお客様のご要望に応じて、魅力ある製品開発に取り組んでまいります。



多心複合並列ケーブル



カメラリンクPoCL Lite

〔電極線事業〕

電極線事業は、ワイヤカット放電加工機用の電極線を提供しております。

主に部品加工に向けて高速加工と表面精度を両立した新製品「OS-UZワイヤ」の販売を開始し、中国や米国などのグローバル市場で高い評価を得ております。プラスワイヤでは、従来の「OBワイヤ」に加えて、新ブランドとなる「フルエース®」も順調な販売を継続しております。

また、地球環境負荷に配慮して、使用済みのワイヤやプラスチックボビンの回収、リサイクルを行っております。

今後も世界一流品質でグローバル市場におけるシェア拡大に向けた取り組みに注力してまいります。

〔FPC事業〕

FPC（フレキシブル基板）事業は、医療、FAから宇宙分野まで、既存の観念にとらわれない「新奇品」の開発に取り組んでおります。

高い許容電流を持ち電源系に利用できる「パワーFPC」や、支持部材なしで垂れ下がらない「自立摺動型FPC」など、新たな配線スタイルを生み出す製品を開発いたしました。

また、製造方式につきましては、パートリーロール工法、ツールレス工法といった当社独自の工法を実現し、短納期・低価格・多種変量生産体制を確立しております。

今後も機器の軽量化、小型化に寄与できるように、魅力ある製品やサービスを提供してまいります。



OS-UZワイヤ



自立摺動型FPC

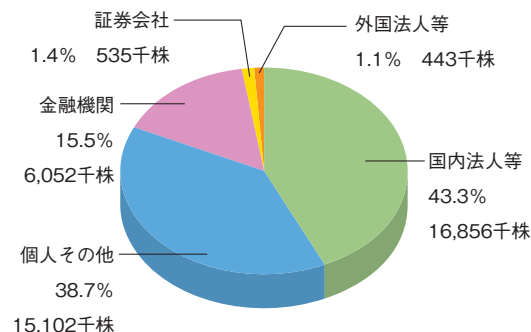
株式の概況 (2011年3月31日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	37,269,927株 (自己株式1,720,943株を除く)
株主数	5,614名
大株主の状況	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	13,075千株	35.1%
明治安田生命保険相互会社	2,087	5.6
沖電線取引先持株会	1,662	4.5
株式会社損害保険ジャパン	1,000	2.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	601	1.6
株式会社みずほコーポレート銀行	575	1.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	345	0.9
沖ウインターテック株式会社	266	0.7
沖電線従業員持株会	253	0.7
日本証券金融株式会社	196	0.5

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の所有者別の状況



会社の概況

設立
資本金
従業員数
主な事業内容

1936年7月16日

4,304百万円

319名 (2011年3月31日現在)

電線・ケーブル：機器用電線、通信用ケーブル、ワイヤーハーネス、フレキシブル基板など

電極線：放電加工機用電極線

不動産賃貸：本社・群馬地区建物の賃貸など

役員
(2011年6月29日現在)

取締役社長	服部 隆	取締役 来住 晶介
常務取締役	安岡 敏一	常勤監査役 笠井 紀明
取締役	深山 憲蔵	常勤監査役 池田 力夫
取締役	金澤 善一	監査役 下柿元 英夫
取締役	井上 正夫	

(注) 1. 取締役来住晶介氏は、社外取締役であります。

2. 常勤監査役池田力夫および監査役下柿元英夫の両氏は、社外監査役であります。

株主メモ

事業年度
定時株主総会
基準日

4月1日から翌年3月31日まで

6月

定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日

株主名簿管理人

〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払(※)、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。

※未払配当金のお支払いのみ、みずほ銀行全国本支店でもお取扱いいたします。

上場株式配当等の
支払いに関する
通知書について

配当金を銀行口座振込または配当金領収証でお受取の株主様につきましては、「配当金計算書」が租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねておりますので、確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、株式数比例配分方式を選択された株主様につきましては、お取引の証券会社へご確認ください。

公告方法

電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

電子公告アドレス：<http://www.okidensen.co.jp/>

ホームページのご案内

ホームページでは、当社のニュース、製品のご紹介など様々な情報を掲載いたしておりますので、こちらでご覧いただけます。

<http://www.okidensen.co.jp/>

[本 社]

〒211-8585
川崎市中原区下小田中二丁目12番8号
☎(044)766-3171

[工 場]**群馬工場**

〒370-0105
群馬県伊勢崎市境伊与久3344番地1
☎(0270)76-4311

岡谷工場

〒394-8686
長野県岡谷市長地御所二丁目10番1号
☎(0266)27-2255

[営業所]**仙台営業所**

〒980-0802
仙台市青葉区二日町3番10号
グランシャリオビル
☎(022)266-0855

群馬営業所

〒370-0105
群馬県伊勢崎市境伊与久3344番地1
☎(0270)76-4300

長野営業所

〒394-8686
長野県岡谷市長地御所二丁目10番1号
☎(0266)27-1597

名古屋営業所

〒460-0003
名古屋市中区錦一丁目11番20号
大永ビル
☎(052)201-2130

大阪営業所

〒564-0045
大阪府吹田市金田町5番18号
☎(06)6337-2681

福岡営業所

〒810-0072
福岡市中央区長浜
一丁目1番35号新KBCビル
沖ウィンテック株式会社九州支店内
☎(092)738-1685

[国内子会社]**沖電線ワイヤーハーネス株式会社**

〒370-0105
群馬県伊勢崎市境伊与久3344番地1
☎(0270)76-7865

沖電線フレキシブルサーキット株式会社

〒370-0105
群馬県伊勢崎市境伊与久3344番地1
☎(0270)76-4418

[海外子会社]**日沖電線（常熟）有限公司**

中国江蘇省常熟市辛庄镇張橋西環路19号
☎(+86)512-5299-2059